

Q 協力会社の納期管理に頭を悩ませています。多品種の部品が必要なため、受注後、社員が何回も倉庫に行つて在庫を確認する作業が発生します。加えて顧客からの緊急オーダーの場合には在庫不足に気が付き協力工場に取りに行くと時間もあります。どのように改善すればよいでしょうか。

A 「質問の問題を解決するにはSCMを学びその仕組みを導入し、社内生産業務と協力工場の生産業務を同期化させる」が必要とす。SCMは、Supply Chain managementの略で、顧客からの販売情報を基に、在庫圧縮や納期短縮などを進めて「売れる量だけ調達し生産し販売していく」仕組みを指します。

協力会社に改善広める

CM導入を決断し直ちに協力ばなりません。検討を進める必要請しました。要請内容は、顧客からの出荷約束日に注文・出荷日とT社への発注を受けた製品のみ組み立てる締め切り・納入時間があるので、当日の朝、工場の指定場所に段ボールを納品してほしいといつもので、そのためSCM工程表を作成し、顧客に必要な改善と一緒にやりませんかと持ち掛けました。次に取り組んだのがSCM長はこのような改善の経験がなかったので中小企業診断士

工程表の作成と発注から納品の指導を仰ぎました。

防犯機器メーカーB社の事例を通して解説します。まず改善ターゲットとテーマの設定です。B社では段ボール箱の種類が200以上に増え、顧客からの注文が複雑化してきています。B社は顧客からオーダーを受けた時点で出荷日は一覽表を見ながら誰でも簡単に作成できるようにしました。午後3時には顧客からの品が決められた時間に決めら

乱していました。そこでB社の社長は協力工場T社へのS

中小企業
診断士による
経営
Q&A

埼玉経済

埼玉新聞 経済欄

◇ 連絡先・一般社団法人埼玉
中小企業診断協会(804
8・762・3350)

段ボール箱の注文ができるよ
うにし、T社からはB社から
送られてきたファックスに対
して返信を返すだけでよくな
りました。B社では倉庫から
の段ボールの入出庫業務がな
くなり、部品供給係の工数が
30%削減されました。

SCMの構築といつとIT
システム構築を思い立つこと
が多いですが、本事例は企業
間の約束事項の確立と注文フ
ォームの変更を含む発注・納
入方法の改善であり、ファク
スを利用した簡易・安価なS
CM構築です。協力工場と歩
調を合わせた改善にトライし
ませんか？

(中小企業診断士 林隆男)